



会報

No.32

2014年1月1日発行

発行／日本コンプライアンス・オフィサー協会 発行責任者／菊池一男
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号 電話 (03) 3267-4826 ホームページ <http://jcoa.khk.co.jp/>

事後対応コンプライアンス

日本コンプライアンス・オフィサー協会会長 長谷川 俊明

人は起こしたことよりも事後対応のまずさから大きな非難を浴びる、とよくいう。企業の場合も同様で、事後の対応で致命的なコンプライアンス問題を引き起こすケースもまれではない。

一昔前にあったことだが、養鶏場のニワトリが鳥インフルエンザにかかり大量死した。渡り鳥がウイルスを運んだとの説も流れたほどで、このこと自体は、養鶏場の経営者がとくに衛生管理を怠ったなどの事情がない限り、同情されてもおかしくない。

ところが、法令や条例などが求める報告、届出義務を怠り、さらに事故を隠そうとしたら事情は大きく変わってしまう。明らかな法令等違反行為として、刑事罰・行政罰の対象にもなるであろう。

コンプライアンスは、単なる「法令等遵守」のことではない。法令を守るのは、個人でも会社でもある意味当然のことであるから、対象を倫理的な「きまり」などにまで広げたくて、これを守るための具体的な体制やシステムを構築しなくてはならない。

コンプライアンスのための体制・システム構築でとくに力を入れて取り組まなくてはならないのが、「事後対応」についてである。2005年に経済産業省が公表した内部統制の「指針」の資料は「わ

が国企業の不祥事分析」をなすとともに、日本企業のリスクマネジメント・内部統制上の問題点を指摘した。そこで7つ挙げられた問題点のうちの1つが、「事故後の対応（いわゆる、クライシスマネジメント）に関する問題」であった。これについて同資料は、「企業価値に大きな影響を与える事故が発生した場合の対応のあり方が、事前に明確になっていない。また、事故等が発生した場合の社内及び社外への情報伝達経路が確立していない」と、問題の原因を分析している。

過去の企業不祥事から見えてくる教訓は、事後対応における初期対応の重視である。事件や事故が起こると、まずは情報収集に走り、原因究明を優先し、あるいは「当面の間の様子見」を決め込むあまり、「速やかな」届出や報告義務に違反してしまうことがありがちである。

欠陥製品による事故の報告を誰がどう受け、どの範囲でリコール・回収などをいち早く決定するか、あらかじめ決まっていなくてはならない。そのうえでいかに早く、決定権者に「悪い情報」を伝える体制をつくっておけるかである。現場を含め、何がコンプライアンス問題になるかにつき、関係者が程度法令内容を知らないことにはすべてが手遅れになりかねない。

コンプライアンス・オフィサー認定試験 成績結果

昨年10月27日(日)に実施いたしました第30回コンプライアンス・オフィサー認定試験の試験結果がまとまりましたのでご報告いたします。

●金融コンプライアンス・オフィサー 1級

成績結果は、〔表-1〕のとおりです。

応募者数1,074名中受験者は839名で、認定者は223名でした。認定率は26.58%、平均点は51.87点で、認定率は前回の26.96%をわずかに下回りました。

問題では、〔問題-2〕個人情報保護法、〔問題-4〕守秘義務、〔問題-6〕優越的地位の濫用の3問が低調でした。それぞれ、よく出題されるテーマですが、解答内容が不十分な答案が多く、平均点が低い結果となりました。

設問が何を問うているのかを的確に理解せず、漠然と関係がありそうな条文を解釈・記述するかたちで、ポイントがずれている答案も多く見受けられました。当然のことですが、その問題で問われている「主題」は何かをきちんと把握し、論理的に説明することが求められています。

●金融コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-2〕のとおりです。

応募者数8,053名中受験者は7,326名で、認定者は3,731名でした。認定率は50.93%、平均点は58.68点で、認定率は前回の53.75%を下回りました。

正答率が30%を下回った問題は、〔問-7〕国家公務員との接待・贈答、〔問-17〕公序良俗違反の融資、〔問-18〕手形・小切手の取扱い、〔問-22〕電磁的記録不正作出罪、〔問-40〕相続、〔問-43〕後見登記制度、〔問-49〕電子記録債権、の7問でした。

手形・小切手や相続、後見登記等のテーマは、

現実の金融実務においても確実な知識を求められる頻度が高いものであると思われますので、残念な結果となりました。

試験として頻出のテーマだけでなく、実務において求められる度合いの高いテーマについても確実な知識を取得しておくことが、日常業務において直面する問題に対応する知識の習得を判定することを主眼とする本試験において、得点に結びつくといえます。

●保険コンプライアンス・オフィサー 2級

成績結果は、〔表-3〕のとおりです。

応募者数1,126名中受験者は995名で、認定者は526名でした。認定率は52.86%、平均点は59.60点で、認定率は前回の59.62%をやや下回りました。

正答率が30%を下回った問題は、〔問-28〕保険金受取人の変更、〔問-35〕被保険者の同意、〔問-37〕金融商品取引法などの関連法規、〔問-41〕保険会社の資産運用規制等、〔問-42〕浮貸しの5問と、前回の7問よりも2問減りました。しかし、全体的に、とりわけ保険契約の募集・締結・保全におけるコンプライアンス部分の正答率が低かったこともあり、認定率は50%強という結果になりました。

〔問-37〕は、金融商品取引法、金融商品販売法および消費者契約法の基本的知識を問うものでしたが、意外にも正答率は低いものとなりました。各法のポイントについて、混同されているものと考えられます。〔問-41〕は、選択肢の一部に比較的最近の法令改正を踏まえたものがあったため、改正前の知識をもとに考えると難しかったようです。この〔問-41〕もそうですが、今回の試験では、正答の個数を求める問題における正答率の低さが目につきました。

〔表－1〕 金融コンプライアンス・オフィサー 1級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	20	335	169	54	228	62	46	20	3	2	27	108	1,074
応募比率(%)	1.86	31.19	15.74	5.03	21.23	5.77	4.28	1.86	0.28	0.19	2.51	10.06	100.00
受験者数(名)	13	281	134	37	172	50	39	11	3	1	27	71	839
受験率(%)	65.00	83.88	79.29	68.52	75.44	80.65	84.78	55.00	100.00	50.00	100.00	65.74	78.12
認定者数(名)	4	83	50	8	25	8	11	4	2	0	7	21	223
認定率(%)	30.77	29.54	37.31	21.62	14.53	16.00	28.21	36.36	66.67	0.00	25.93	29.58	26.58
平均点(点)	59.85	53.44	55.37	51.92	46.98	44.50	52.28	53.45	58.67	42.00	50.15	54.63	51.87
年齢(歳)	44.1	37.0	39.6	42.0	42.1	45.6	43.5	37.8	41.3	35.0	47.6	41.7	40.4
勤続年数(年)	19.8	13.8	16.3	18.6	19.1	21.6	19.9	15.2	18.0	9.0	22.6	16.7	16.9

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－2〕 金融コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	317	1,211	727	409	1,568	615	1,620	140	17	0	30	1,399	8,053
応募比率(%)	3.94	15.04	9.03	5.08	19.47	7.64	20.12	1.74	0.21	0.00	0.37	17.37	100.00
受験者数(名)	285	1,090	657	368	1,430	553	1,523	129	15	0	30	1,246	7,326
受験率(%)	89.91	90.01	90.37	89.98	91.20	89.92	94.01	92.14	88.24	0.00	100.00	89.06	90.97
認定者数(名)	205	595	492	148	694	141	556	74	10	0	27	789	3,731
認定率(%)	71.93	54.59	74.89	40.22	48.53	25.50	36.51	57.36	66.67	0.00	90.00	63.32	50.93
平均点(点)	64.15	60.05	65.77	56.26	58.29	50.68	54.10	60.57	63.73	0.00	69.67	62.27	58.68
年齢(歳)	34.2	31.1	33.1	31.0	33.3	30.9	38.8	31.4	43.3	0.0	48.6	33.3	33.9
勤続年数(年)	9.7	7.7	9.1	6.9	10.7	8.4	15.9	7.2	18.2	0.0	22.1	9.2	10.4

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

〔表－3〕 保険コンプライアンス・オフィサー 2級 業態別成績一覧表

	都・ 特銀	地銀	信託	第 二 地 銀	信 金	信 組	信・ 連 農・ 協	労 金	生・ 保 損・ 保	証 券	郵 政	他団体 個人	全 体
応募者数(名)	0	113	0	3	101	14	204	0	422	0	18	251	1,126
応募比率(%)	0.00	10.04	0.00	0.27	8.97	1.24	18.12	0.00	37.48	0.00	1.60	22.29	100.00
受験者数(名)	0	104	0	3	90	13	187	0	364	0	15	219	995
受験率(%)	0.00	92.04	0.00	100.00	89.11	92.86	91.67	0.00	86.26	0.00	83.33	87.25	88.37
認定者数(名)	0	48	0	1	33	3	56	0	227	0	9	149	526
認定率(%)	0.00	46.15	0.00	33.33	36.67	23.08	29.95	0.00	62.36	0.00	60.00	68.04	52.86
平均点(点)	0.00	58.25	0.00	52.67	56.36	52.31	54.14	0.00	61.93	0.00	59.60	62.89	59.60
年齢(歳)	0.0	37.2	0.0	31.7	37.9	32.7	36.8	0.0	40.0	0.0	38.5	42.0	39.2
勤続年数(年)	0.0	15.1	0.0	9.0	15.5	10.2	13.4	0.0	15.6	0.0	16.8	16.4	15.2

※ 認定基準は60点(以上)です。表中の平均点・年齢・勤続年数は受験者の数値です。

第30回 金融コンプライアンス・オフィサー 2級試験 都道府県別認定率ランキング

第30回コンプライアンス・オフィサー認定試験の成績結果につきましては2、3頁でご紹介しましたが、金融コンプライアンス・オフィサー2級で認定率が上位5位の都道府県は下記のとおりです。

*申込20名以上の団体を対象としています。また、「都道府県別」については、各団体の本店所在地を都道府県に置き換えて集計・作成しています。

★金融コンプライアンス・オフィサー2級…全国平均50.93%

		認定率	受験者数	認定者数
1位	三重県	68.49%	73名	50名
2位	北海道	65.57%	61名	40名
3位	島根県	65.38%	26名	17名
4位	東京都	64.68%	2,285名	1,478名
5位	富山県	61.29%	62名	38名

〔2014年3月実施〕

コンプライアンス・オフィサー認定試験のご案内

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第31回 2014年 3月2日(日)	2014年 1月7日(火) ～1月20日(月) 必着	J Aコンプライアンス3級	三答択一式	13:30～15:00 (90分)	3,150円 (税込)

〔2014年6月実施〕

コンプライアンス・オフィサー／個人情報保護オフィサー認定試験のご案内 〔コンプライアンス・オフィサー認定試験〕

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第32回 2014年 6月1日(日)	2014年 4月1日(火) ～4月17日(木) 必着	金融コンプライアンス・ オフィサー1級	事例付記述式	13:30～16:30 (180分)	6,480円 (税込)
		金融コンプライアンス・ オフィサー2級	四答択一式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)

〔個人情報保護オフィサー認定試験〕

実施日	願書受付期間	実施種目	出題形式	実施時間	受験料
第15回 2014年 6月1日(日)	2014年 4月1日(火) ～4月17日(木) 必着	金融個人情報保護 オフィサー2級	三答択一式／ 事例付記述式	10:00～12:30 (150分)	4,320円 (税込)